

今月のKYT（危険予知トレーニング）

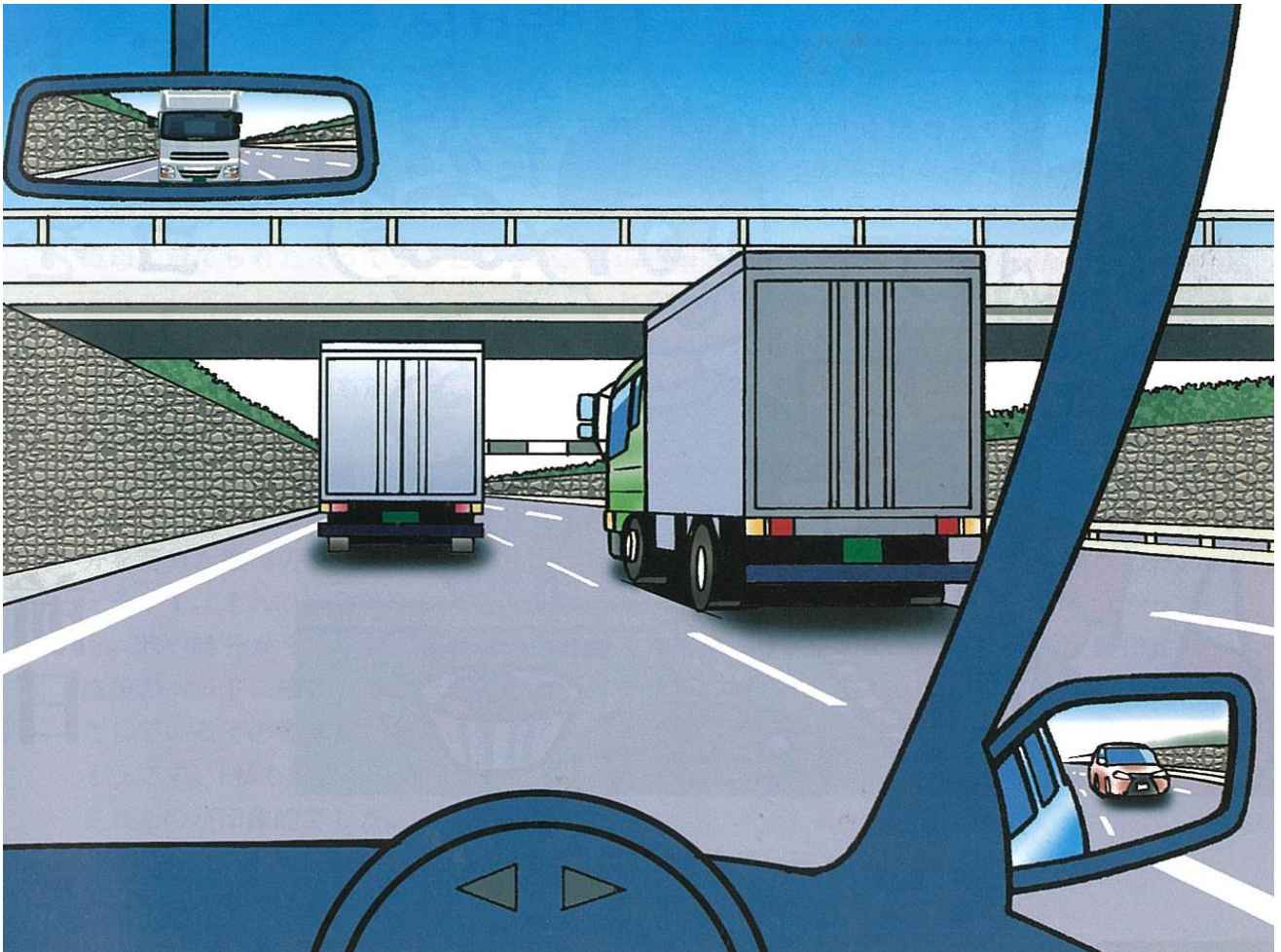
高速道路の走行車線を走行しています。

自車の前後にはトラックが走行しています。

自車はこのまま高速道路を走行したいのですが……。

【解説は次ページ】

下記のKYTトレーニングを実施し、自己の危険予知能力を高めましょう！



◎ 予想される危険を記入して下さい。 氏名 _____

1 _____

2 _____

3 _____



危険予知 ポイント

- ① 急ブレーキを踏んだ前車に追突する。
- ② 車線を変更した際、後続車と衝突する。
- ③ 後方を走行するトラックに追突される。

前方のトラックに近づきすぎない

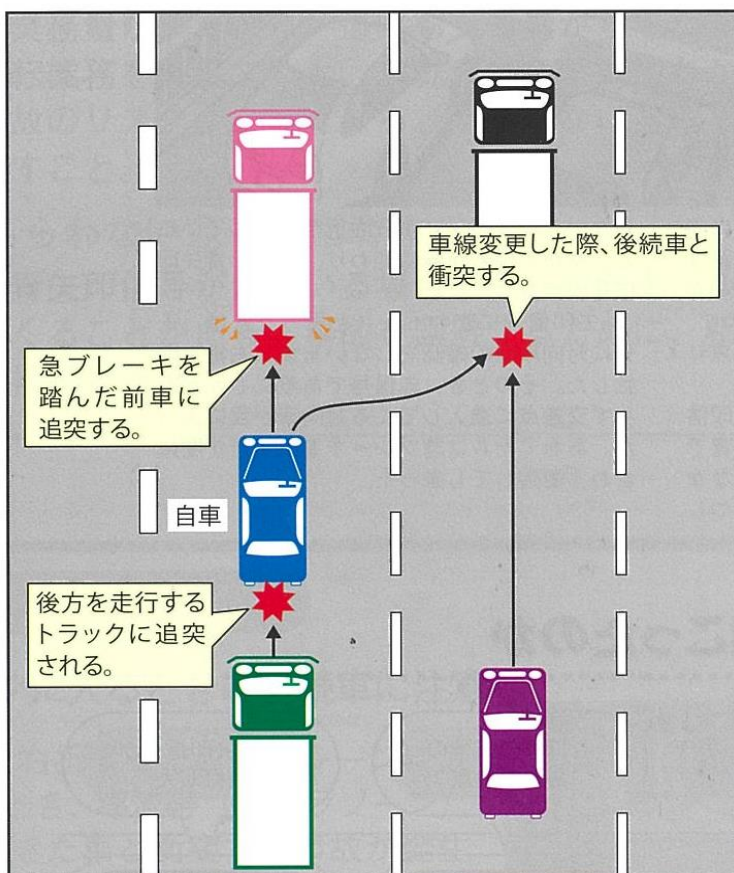
前方のトラックに接近しすぎていると、トラックの急ブレーキに対応できずに追突するおそれがあります。また、トラックを追い越そうとして、安易に車線変更を行うと、走行してきた後続車と衝突する危険があります。

この場面では、前車の前の状況を確認できるだけの車間距離を確保しましょう。また、車線を変更するときは変更先の状況をしっかりと確認してから行いましょう。

後続のトラックの動きにも
注意する

自車の後方にもトラックが走行しています。後続のトラックは視線が前方のトラックに向きがちになるため、見落とされる危険があります。

機会を見て車線を移りましょう。



前後をトラックに挟まれた場合は、早めにその状況から抜け出そう
(写真はイメージ)

KYT(危険予知訓練)は、交通場面を見て、どこに、どういう危険があるかを想像することで、危険を予測する訓練法です。

日々KYTを行い、危険感受度を高めて危険回避に役立てましょう。

※ 毎月配信しています。有効に活用し事故防止にお役立てください。